	工  種	項目	管理基準値(mm)	(参 考) 規格値(mm)	測定基準
16 海	1 捨 石 工 消波ブロッ ク	1 基準高(V)	<ul><li>全 200</li><li>捨石工は特記仕様書による</li></ul>	<ul><li>300</li><li>捨石工は特記仕様</li><li>書による</li></ul>	基準高、幅については施 工延長おおむね 50mに つき 1 箇所の割合で測 定する。
岸		2 幅(B)	⊕ 200	⊝ 300	
河川		3 施工延長	<ul><li>○ 130</li></ul>	<u> </u>	
工事					
7					

管	理 方	式								
管理図表に よるもの (様式 2-1、	結果一覧表 によるもの (様式 3-1)	構造図に朱	定	筃	所	標	準	図	摘	要
2-2) 基準高、幅 で20点の	左記のもので20点表 のもの	左であるのであるのであるのであるのであるのであるのであるのであるのであるのであるの					V			

-	工. 種	項目	管理基準値(mm)	(参 考) 規格値(mm)	測定基準
16	2 波返工	1 基準高 ▽		<b>(±)</b> 50	施工延長 40m(測点間隔 25mの場合は50m)につき 1 ケ所、延長 40m(又は
海		2 幅 w <sub>1</sub> , w <sub>2</sub>		⊝ 30	50m)以下のものは1施工 箇所につき2ケ所。
岸		3 高さ		<u></u> 50	_
河川		h<3m h <sub>1</sub> , h <sub>2</sub> , h <sub>3</sub>			
エ		4 高さ h≧3m			
事		$ \begin{array}{c}                                     $			_
		延長 L			

管	理方	式								
管理図表に	結果一覧表	構造図に朱								
よるもの	によるもの	記、併記す	定	筃	所	標	準	図	摘	要
(様式 2-1、	(様式 3-1)	るもの								
2-2)										
									本項目	
									土木施理基準	
				w.	W.				成 31	
				-	+ 1				月)熊	本
			T		\ `	h <sub>2</sub>			土木部	『を準
			h,	)	\-\-	-			用	
				J	)-	h <sub>3</sub>				
			1	4						
			(							
			~							

-	工   種		項目		管理基準値(mm)	(参 考) 規格値(mm)	測定基準	
16	3 浚渫船運 転工 (ポンプ浚			200ps		−800~+200	延長方向は、設計図書に より指定された測点毎。 横断方向は、5m 毎。	
海	渫船)		電気船	500ps		-1000~+200	また、斜面は法尻、法肩とし必要に応じ中間点も加える。ただし、各測	
岸河		準高▽		1000ps		-1200~+200	定値の平均値の設計基準高以下であること。	
川 工			ディーゼル船	250ps		-800~+200		
事				420ps 600ps		-1000~+200		
				1350ps		-1200~+200		
			幅			-200		
		延 :		長長		-200		
	4 浚渫船運転工		基	準高▽		+200以下	延長方向は、設計図書に より指定された測点毎。	
	(クラブ浚渫 船) (バックホウ		幅			-200	横断方向は、5m 毎。 また、斜面は法尻、法肩 とし必要に応じ中間点	
	浚渫船)		延長			-200	も加える。ただし、各測定値の平均値の設計基準高以下であること。	

管	理 方	式		
管理図表に	結果一覧表	構造図に朱		
よるもの	によるもの	記、併記す	測定箇所標準図	摘要
(様式 2-1、	(様式 3-1)	るもの		
2-2)				
				本項目は、
				土木施工管 理基準(平
			<b>□</b> ∇	成 31 年 4
			\	月)熊本県
				土木部を準
			\ _ /	用
				本項目は、
				土木施工管
			<u> </u>	理基準 (平 成 31 年 4
			\ •	月)熊本県
				土木部を準
			\ _ /	用